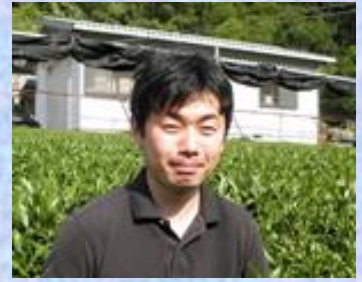


～安全・安心な茶を新宮から消費者へ～
脇 純樹さん(四国中央市(新宮村))

四国中央青年農業者協議会員 1988 年生まれ
ホームページ <http://www.waki-tea.co.jp/>



☆経営概況☆

有限会社脇製茶場（自社茶園180a、茶園管理受託800a）の専務を務め、主に製茶・販売部門に携わっています。（社員10人）

☆ここがポイント☆

■曾祖父が始めた新宮茶の生産を引き継ぎたい

新宮茶の創始者脇久五郎は曾祖父にあたり、実家が代々製茶場を営んできたこともあり、自然にお茶が好きになり小さい頃から家業を継ぎたいと思っていました。

そして、大学卒業後の平成22年に3代目の父が法人化した脇製茶場に社員として就農しました。

■安全・安心で香り高いお茶を消費者に届けたい

農薬不使用栽培による安全・安心なお茶生産を実践しているほか、品質を重視して、病虫害の発生しやすい2番茶以降は収穫せず、1番茶を主力にした収穫を行っています。

また、茶の生産、加工、販売を一貫して行い、山峡独特の香気と強い滋味の新宮茶を消費者に届けています。

新宮茶のPRや販路開拓のため、5月の新茶まつりには手もみ茶体験の講師を務めて、消費者との交流を行っています。

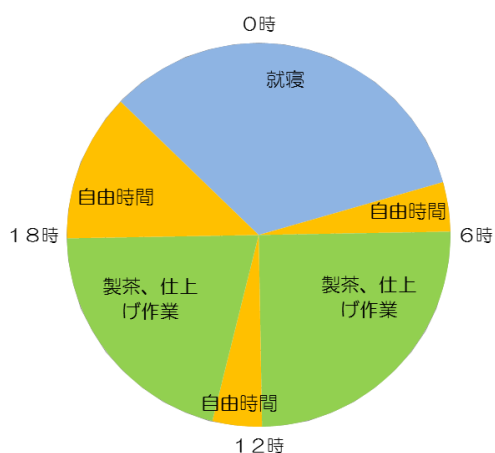


手もみ技法による製茶



製茶場内

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

新宮は自然が豊かで川もきれいなので、休みの日は釣りや川遊びをしています。

また、趣味と実益を兼ねて日本茶インストラクターの資格、手もみ茶振興会の教師補資格を取得しました。

その資格を活かし地元観光施設「霧の森」でお茶の手もみ実習の講師をするなど、日本茶の魅力伝える活動を行っています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	5月の新茶のシーズン					
← 茶摘み、製茶、仕上げ、販売 →						
【普通期】	← 販売、茶園管理、研修 →					
						休日



協製茶場敷地内の直売店舗



イベントでの直売に参加

☆これからの夢や目指すもの☆

■新宮茶を守り、茶の新たな販路を開拓したい

地域では高齢化で労働力不足となり管理が十分できない園が増えているので、新宮の茶園を守っていくために作業受託を増やし、規模を拡大していきたいです。また、緑茶にとどまらず、半発酵茶や、紅茶、ウーロン茶などの商品開発にも取り組み、販路を拡大していきたいです。

☆メッセージ☆

■6次産業化により納得のいく商品づくりができる

山峡の地に育まれた新宮茶は独特の香りで「香り日本一」と評されています。また、製造、加工、販売を一貫して行うことでイメージどおりのお茶づくりができ、自信を持って消費者に届けることができている。ぜひ一度ご賞味ください。